



夏野菜の準備中



トウモロコシの種を蒔き終えたばかりの大竹さん。どんなに忙しくても、いつも穏やかな笑顔です。



6月中旬出荷のトマトをもう育て始めています。



ビニールトンネル内の5月出荷予定のホウレン草。本葉が出たばかりの赤ちゃんです。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

★夏野菜の準備が始まっています

今の時期は端境期（はざかいき）といって冬野菜が終わり、初夏の野菜が出てくるまで野菜の種類が少なくなる季節です。とはいえ農家は休んでいる暇はなく、小松菜など出せる野菜を出荷しながら、夏に向けての準備で忙しい日々が始まっています。

例えば、夏野菜の定番のトウモロコシやトマトを作っている大竹さんもその一人。6月下旬から出荷のトウモロコシは3月12日から何回かに分けて種を蒔きながらビニールトンネルで保温しながら育てています。同じく6月出荷の大玉トマトは、3月15日に約2,000本の苗をハウスの畑に移植しました。その他に5月出しのチンゲン菜やホウレン草の種を何回かに分けて蒔き、また田んぼの準備も始めています。

同時の複数の作物を育てるの大変です。例えば、トマトには芯を食べる虫がつくので今の小さいうちにやられるとどうにもなりません。そのため毎日見回り、見つけたら手でとっています。またハウスやビニールトンネルは暖かい日は換気が欠かせず、稲の苗作りは毎日気が抜けません。「どれも全部きちんとやろうとしても完璧にはやり切れないよな。でも忙しいかもしれないけど、ずっとやっていることだからそうは感じないけどな。まあ、一息つけるのは夏のトマトが終わってからだな」のんびりしているように思える春の端境期も、実は農家にとっては夏に向けて沢山仕事がある忙しい時期なんですね。

【産地情報】

◎かぶは4月頭から出荷再開予定です。